

# 令和5年(2023年)度 滋賀県山岳連盟 自然保護委員会 活動計画(案)

令和5年3月8日 自然保護委員会

## 1 目的と方針

- 目的 ①野外での活動を通し自然に親しみ、地域への理解を深める。  
②野外での活動を通し自然保護の意識を高められるようにする。
- 方針 ①地域の理解を深めるために県内および近隣府県の適地を選び、主にルートの調査、自然観察会や歴史探訪などを実施する。  
②自然保護の意識を高められるようにするために山行中の清掃活動や自然保護に関わる研修会を実施する。誰もが取り組める内容を大事にする。

## 2 実施計画案

実施月日	地域と行事名称	企画主担当
○ 5月 20日(土)【湖北】	マキノ高原, 赤坂山, 寒風を歩く	森田
○ 7月 15日(土)【湖東】	太郎坊山, 箕作山周辺を歩く	森田
○ 9月 16日(土)【湖西】	蛇谷ヶ峰, 朽木周辺を歩く	北村
○ 11月 11日(土)【湖西・京都】	安曇川源流から京都最高峰皆子山を歩く	山本
○ 2月 10日(土)【湖南】	貴生川から飯道山, 紫香楽宮を歩く。	北村

※ 日時、活動内容は事情により変更する可能性があります。

## 3 課題等について

令和4年度は、委員長1名、副委員長2名の計3名体制で自然保護委員会事業にのぞんだ。自然観察を通して、植生や地質、歴史について広く学べるフィールドを選定して、参加者に満足のいく内容に努めた。十分な下見をして、安心・安全を最優先しのぞんだおかげで、事故なく1人のけが人も出さずに実施できたのは大きな成果であった。今年度も、さらに内容を深めて臨みたい。そのためにも、自然、環境、人文、歴史などの分野について、しっかり学習して臨みたい。昨年は年間延べ参加者60名を超える参加があったので、同程度の規模で実施できることを期待したい。

したがって、昨年からの課題として挙げたように、多くの山岳会からの参加を通して、自然保護委員会の活動としての貴重な意見を頂ける機会を多くしていきたい。

## 4 その他

昨年通り、参加費として参加者から500円/回につき徴収する。

(文責 森田)